

(参考様式2) 社会資本総合整備計画事後評価書

令和6年3月 31日

計画の名称	精華町における循環のみの実現（第2期）（重点計画）												
計画の期間	平成31年度 ～ 平成31年度（1年間）					交付対象	京都府 精華町						
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
計画の成果目標（定量的指標）													
下水道処理人口普及率を98.9%（H31）から99.1%（H31）に増加させる。													
定量的指標の定義及び算定式													
下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）										定量的指標の現況値及び目標値			備考
										当初現況値	中間目標値	最終目標値	
										(H31当初)	(H31末)	(H31末)	
										98.9%	99.1%	99.1%	
										98.9%	99.3%	99.3%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	241百万円 185百万円	A	241百万円 185百万円	B	—	C	—	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)		—		

事後評価（中間評価）

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本町上下水道部上下水道課による内部評価	事業完了後
	公表の方法
	町ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業														上段：計画		下段：実績	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
A07-001	下水道	一般	精華町	直接	精華町	管渠 (汚水)	新設	精華町公共下水道（精華第1 1 処理分区）	φ=200mm～350mm L=227m	精華町	H31	R02	R03	R04	R05	92.0	
									φ=200mm～350mm L=215m							75.0	
A07-002	下水道	一般	精華町	直接	精華町	管渠 (汚水)	新設	精華町公共下水道（精華第1 4 処理分区）	φ=200mm～250mm L=176m	精華町	H31	R02	R03	R04	R05	149.0	
									φ=200mm～250mm L=176m							110.0	
小計（下水道事業）																241.0	
																185.0	

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H31	R02	R03	R04	R05		
合計																

C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H31	R02	R03	R04	R05		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		京都府木津川上流流域関連精華町公共下水道事業の推進により、下水道処理区域が増加し、良好な環境整備の進捗に繋がった。				
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	99.1%	目標値と実績値 に差が出た要因		
		最終実績値	99.3%			
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因		
		最終実績値				
			最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
			最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）						
3. 特記事項（今後の方針等）						
汚水処理人口普及率については、今後も下水道整備を進め、汚水処理普及区域の拡大に努める。						

(参考様式3) 社会資本総合整備計画事後評価書

